

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立横路中学校
(横路中学校区)

全国平均値との差 (英語については、「話すこと」調査を除く)

| | 国語 | 数学 | 英語 |
|----------------|------|-------|------|
| 呉市教育振興基本計画〈指標〉 | +5.0 | +5.0 | |
| 令和8年度 | — | — | — |
| 令和7年度 | — | — | — |
| 令和6年度 | — | — | — |
| 令和5年度 | +3.2 | +10.0 | +2.4 |
| 令和4年度 | +3.0 | +4.6 | +1.7 |

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

| | |
|---|--|
| <p>国語</p> <p>本校 73 % 全国 69.8 % 県 70 %</p> | <p>重点課題</p> <p>◎文章の構成や展開・表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。 〔設問4(三)〕【読むこと】(本校55.7%, 全国平均50.0%) ◇複数の資料から情報を読み取ったり、相手意識をもって情報を取捨選択したりしながら書くことに課題がある。【書くこと】</p> <p>改善の方策</p> <p>◎文章の構成や展開・表現の効果について、根拠を明確にして自分の考えを書く活動を設定する。そして、文章の構成や展開・表現の仕方など、観点を明確に示して生徒間で評価し合う学習活動を設定する。 ◇目的や意図に応じて、相手に伝わりやすい表現を意識しながら書く活動を設定するとともに、その文章を相互評価したり助言し合ったりする学習方法を取り入れていく。国語的な表現の技法について、繰り返し丁寧に指導をしていく。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問4(三))の類似問題 (第2学年, 2月) 目標55%→結果61.9% (第3学年, 1月) 目標60%→結果70%</p> |
| <p>数学</p> <p>本校 61 % 全国 51.0 % 県 49 %</p> | <p>重点課題</p> <p>◎証明問題を解く際に、必要な情報を問題文の中から抜き出すこと、抜き出した情報を証明の文章に落とし込むことに課題がある。 〔設問9(1)、(2)〕(本校40.9%, 全国平均32.1%) ◇問題を解くために必要な情報を取捨選択することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎「仮定」と「結論」を整理し、必要な情報を抜き出して図に書き込ませる。証明問題では「結論」が与えられているので、どのような筋道を辿れば説明できるか、三角形の合同条件など根拠となることとがらを用いて、互いに説明し合う場面を設定し、結論から逆算し、見通しをもって証明問題に取り組ませていく。 ◇問題から分かることを問題文や図に書き込んだり、途中の式を省略せずに関数に書き込んだりするなど、自分の考えを残す習慣を身に付けさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問9)の類似問題 (第2学年, 2月) 目標40%→結果46% (第3学年, 1月) 目標50%→結果62.9%</p> |
| <p>英語</p> <p>本校 48 % 全国 45.6 % 県 43 %</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p> | <p>重点課題</p> <p>◎まとまった英文を読み、文と文との関係を正確に読み取ることに課題がある。 (設問7(1))【読むこと】(本校50.0%, 全国平均59.8%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎まとまった英文を読む際に、副詞(句)や接続詞(句)を確認し、その働きについて考えさせる。また、英文を書くときも、文と文との関係を意識させて、文のつながりを考えさせる。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問7(1))の類似問題 (第2学年, 2月) 目標55%→結果55.2% (第3学年, 1月) 目標60%→結果66.1%</p> |

【来年度に向けて】

学期に1回程度、教科会を設定して課題の分析・改善方法の検討を行い、系統的に授業改善を進めていく。各教科で読解・記述の仕方の指導やICTの活用を充実させ、普段から自分の考えを記述したり、発表したりする場面を設けて学力の向上を図る。また Qubena 等を活用し、基礎学力の定着を図る。